

哲学者・作家 千葉氏が講演

飯塚毅育英会

本県出身の大学生らを支援する飯塚毅育英会は23日、宇都宮市内のホテルで



生成AI時代の学びをテーマに講演する千葉氏。23日午後、宇都宮市

育英講演会を開いた。同市出身の哲学者・作家で立命館大学院の千葉雅也教授が「学ぶことと文化について」と題して講演した。

同会奨学生ら約210人が参加した。千葉氏はインターネットの出現以降、スマートフォンの普及や生成人工知能（AI）の登場により、瞬発的に情報や文章を得ようとする志向が強まり「じっくり考えることが難しくなっている」と指摘した。

より高性能になることが予想されるAIは、アシストとして補助的に使うことを推奨。ネットの外側には、AIが学習する既存データにはない情報や歴史が膨大にあるとし、「それらを人力で読み解き、論理を計算することが変化する時代の中で人間として生き続けるためには必要だ」と、基礎教養や思考力を磨く重要性を説いた。